

第73号

## 会員便り

2019年（令和元年）  
7月1日発行

広報委員会 編集 〒732-0816 広島市南区比治山本町 12-2 広島県社会福祉会館内 TEL : 082-254-3019 FAX : 082-254-3018

## Index

2019年度 通常総会・公開講座 開催報告  
 役員 就任ご挨拶  
 共同募金 社会課題解決プロジェクトご協力御礼  
 地域生活定着支援センター

若年性認知症サポートルーム  
 司法委員会より委員募集のお知らせ  
 連載コラム 秋山 智久氏（社会福祉学博士）

## 令和元年の広島県社会福祉士会体制整う



## 通常総会・公開講座が開催

2019年5月26日（日）広島県健康福祉センターにて2019年度第1回通常総会を開催しました。

議長には吉田隆宏会員が選出され、正会員1025名のうち出席者52名、委任状による出席484名で定款に定める過半数の出席により総会は成立したことが事務局より報告がありました。第1号・第2号の2019年事業計画及び予算についての報告が行われた後、第1号議案2018年度事業報告、第2号議案2018年度決算報告、第3号議案役員選任について審議され、それぞれ承認されました。

事業報告については各委員会及び支部報告が報告されました。その後の決算報告については、事務局から報告がありました。また、役員改選について、選挙管理委員の前原由宏委員長より説明があり、理事の立候補が定款上に定める定数内であることの報告があり、

役員選任案が承認されました。その後、新理事が別室にて理事会を開催し、新会長に中山康平氏、副会長に三上和彦氏、駄賀健治氏、赤山 亮が就任することが会長から報告がありました。

## 昨年豪災への支援活動を振り返る

総会後の公開講座では、「平成30年7月豪雨災害における支援活動を振り返る～会員からの体験報告と本会の活動報告」と題して、会員のみなさまからリレー報告がありました。

まず、原本 一会员より「入所施設の立場から」について、続いて山下ひとみ会員より「医療機関の立場から」について、土手悠介会員より「ボランティアセンターの立場から」、駄賀健治会員より「成年後見人の立場から」について、三上和彦委員長より「災害被災者支援委員会から」についてそれぞれ報告がありました。

どの分野もこの度の豪災において、想定を超えた被害が起こり、それに対して混乱や苦労された状況や非常時の他機関の連携の様子や難しさなど体験談を踏まえ報告を頂きました。改めて「日常の当たり前」がどれほどありがたい状況かということを考えさせられるとともに、いかに災害時に備えていくべきかを考えていく大事な契機になる報告でした。

【副会長 赤山 亮】

## ■2019年度 役員選出■

### 会長就任のご挨拶

山中 康平（東支部 社会福祉法人 新生福祉会）

再び会長を務めさせていただくことになりました山中です。

この2年を振り返ると様々な課題が山積し皆さんにご迷惑をお掛けするともありました。一方では社会における社会福祉士会に対する期待も感じることができました。今回が理事に就任して4期目ということで最後の2年になりますがスムーズにバトンタッチできるように精一杯務めてまいります。

強 困った時に支えてくれる仲間がいることです。

ス ストレスは常に抱えています。解消することはありません。



### 副会長就任のご挨拶

赤山 亮（東支部 福山リハビリテーション病院）

私は医療ソーシャルワーカーとして医療機関に勤務しております。医療分野でも、社会福祉士の配置が増えてきており、活躍するフィールドも年々幅広くなってきていることを、身をもって実感しています。同時に要求される知識や技術なども、より専門性を磨いていく必要性を感じています。当会でも、地域で活躍する社会福祉士のバックアップや専門性の向上へ向けた活動の推進ができる体制づくりに尽力していきたいと思います。

強 楽観的なところ。

ス フットサル（でした・・）。



駄賀 健治（中南支部 医療法人社団中川会）

前期に引き続き、理事に就任することとなり、副会長という大役に戸惑っております。大きなことはできませんが、これまでの経験を少しでも会の発展と県民の福祉向上に寄与できればと考えております。会員が社会福祉士会の活動を通して自身のレベル向上と社会福祉の発展を実感していく、そんな運営を目指したいと考えます。会員の皆さん、受け身だけではない双方向のコミュニケーションの取れる社会福祉士会にしていきましょう！

強 よくも悪くも神経が図太いことでしょうか。

ス 沢山の人と飲む楽しいお酒は大好きです。



三上 和彦（西支部 社会福祉法人 FIG福祉会）

副会長に就任致しました三上でございます。平成30年7月豪雨災害時の支援活動に際し、多くの皆様にご協力頂きましたことに感謝申し上げます。活動を通じ、改めて社会福祉士の専門性と固有性、並びに意義を確認致しました。更なる組織の体制強化、専門職団体としての魅力ある組織づくりを目指し、県民の福祉向上、会員の利益と当会の発展のため、微力ながら尽力いたす所存です。会員の皆様のご理解ご協力を心からお願い申し上げます。

強 困難なことがあっても前向きに捉えるところ。

ス ひたすら料理を作る。



## 理事就任のご挨拶

（支部 所属）

強・・・私の強み

ス・・・私のストレス解消法



### 印藤 牧絵（西支部 広島文教大学）

二期目の理事として活動させていただきます。社会福祉士同士が、勤務先や仕事上の関係者の繋がりのみでなく、幅広い領域で学び合える環境を構築し、社会福祉士のスキルアップに貢献したいと思っています。よろしくお願ひいたします。

強 お腹が丈夫。

ス 旅行。



### 萱池 麻子（西支部 社会福祉法人 誠心福祉会）

広島県社会福祉士会の第三者評価の質の向上をめざし、ひいては社会福祉法人の福祉サービスの質の向上に寄与できればと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

強 嫌なことも、いいことも忘れること・・・

ス ホットヨガなど、身体を動かすこと、映画をみること、本を読むこと。



### 鈴川 千賀子（西支部 広島市中区障害者基幹相談支援センター）

社会福祉の仕事や活動に長年携わってきたなか、私のテーマは「多様な貧困、困窮者」支援に集約されてきました。（「多様な」とは、経済的困窮に限定されないという意味です）久々の理事就任となりました。今、私のできることで貢献したいと思っています。

強 プラス思考であること。

ス カープ観戦。



### 徳永 文（西支部 広島市西区障害者基幹相談支援センター）

この度、2期目の理事を務めることになりました。会員の皆さんと沢山の出会いを期待しています。引き続き皆さんのお力添えを頂きながら、会の運営に邁進していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひ致します。

強 物事をポジティブに捉えられること。

ス 読書が好き。本は常に持ち歩いています。

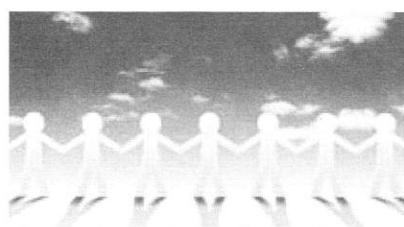


### 原本 明美（西支部 広島YMCA専門学校）

この度、初めて理事を務めさせて頂くことになりました。「権利擁護センターばあとなあひろしま」の運営委員と災害被災者支援委員会で活動しています。皆様と顔の見える関係作り、繋がり作りを進めていきたいと思っています。どうぞ宜しくお願ひ致します。

強 私は、記憶力に自信があります。

ス カープ観戦（今期、レディース会員です）。





## 松谷 恵子（西支部 まつたに社会福祉士事務所）

日々、社会福祉士として活動する会員の皆さまがより一層専門性を発揮できるよう、微力ながら理事として力を尽くしてまいりたいと存じます。なにとぞよろしくお願ひいたします。

- 強 フットワークが軽いこと。  
■ ス 長風呂をしてとにかく寝る。



## 吉岡 孝二（西支部 社会福祉法人 正仁会）

私の抱負です。■多職種との強固な連携が可能となるよう、医療や介護等との橋渡しをしていきたい。■経営の観点から、組織運営の一端を担っていきたい。■社会福祉分野の学術研究により、専門性の向上に寄与したい。

- 強 持続力と推進力。  
■ ス 子供とスポーツ（ソフトボールなど）。



## 廣森 明子（中南支部 江田島市福祉保健部子育て支援課）

この度、長きにわたり勤めてきたばあとなあひろしま運営委員長の任を外れたことで、今期はゆとりをもって会の運営状況に携わることができます。多岐にわたる会の活動を掌握し、魅力ある会づくりに尽力したいと思いますので、どうぞよろしくお願ひします。

- 強 協調性と行動力、くよくよしないところ。  
■ ス 歌舞伎、演劇、ミュージカル、映画鑑賞。



## 藤尾 正彦（北支部 社会福祉法人 庄原市社会福祉協議会）

4期目となりました。司法福祉委員会では、更生保護関係機関について、また社会福祉士の立ち位置を学ぶ機会をいただきました。相談援助技術の向上、要支援者の自己決定による自立支援のため生涯学習を継続する所存です。会員相互の交流や当会運営に尽力いたします。

- 強 基本的に、頼まれごとを断らない。  
■ ス あまり、ストレスを感じませんが、何もしない。



## 平岡 和子（北支部 平岡社会福祉士事務所）

理事4期目となりました。これまで関わった事業から見えてきた会の課題と強みを踏まえ、会員の皆様が安心して活躍できるように、引き続き取り組んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

- 強 やる時はやります！  
■ ス カープ応援と一人旅（なかなか行けません）。



## 川西 顕（東支部 株式会社アーバン・ケア）

今まで社会福祉士会の活動はずっと“受け身”での参加でしたが、この度は組織運営の一端を担わせて頂く事になり恐縮しています。微力ながら会の発展に少しでも協力できたらと身も引き締まる思いです。

- 強 少々のストレスやダメージも一晩寝たらリセットできます。  
■ ス 吞み歩き（健康診断で“胃袋は30代”とのお墨付きを貰っています）。



## 長谷川 佳子（東支部 福山市北部地域包括支援サブセンター駅家）

近年、社会福祉士が果たす役割や期待が大きくなっています。それに応えるべく、活動されている会員の皆様の繋がりが持て、専門性を持った実践につなげられるような学びの場の支援ができればと思っております。

- 強 良くも悪くもすぐ忘れる。拘りが少ない。  
■ ス 集中のため、革細工・ビーズ細工・ナンプレ。



## 巴 直樹（東支部 社会福祉法人 新市福祉会）

社会における生活課題の多様化、複雑化、深刻化がみられている中、その支援においても多角化、多元化、総合化が求められるようになってきています。そのような時代に対応すべく、社会福祉士のあり方について追求してゆきたいと思います。

- 強 意外と頑丈です。笑。  
■ ス しっかりと眠ること。



## 中村 真和（西支部 社会福祉法人 廿日市市社会福祉協議会）

理事として2期目を務めさせていただきます。広島県の福祉にとって、広島県の社会福祉士にとって、本会が「なくてはならない組織」であり続けられるよう、微力ですが尽力いたします。

- 強 人と関わるのが好き、忍耐強い、ポジティブ。  
■ ス 筋トレ、お酒。

## 外部理事就任のご挨拶



### 井上 周子（胡田・井上・村上法律事務所）

高齢者の問題、子供の虐待の問題、貧困問題、引きこもりの問題など、福祉の分野はこれまで以上に取組みが望まれています。皆様のご奮闘の状況を学びつつ、自分の引出しも増やしていければと思っています。

- 強 法律分野。あまり強くないですけど・・・  
■ ス スイーツで自分を甘やかす。



### 岡本 倫明（広島総合法律会計事務所）

今回2期目の就任となりました。すこしづつ慣れてきましたので、今期も（！）全力で頑張ってまいります！

- 強 誰とでも仲良くなれることでしょうか・・・  
■ ス ヨガ、織田信長全盛のころの歴史小説。



## 監事就任のご挨拶



### 竹村 秀博（司法書士 竹村秀博事務所）

4期目となり、規定によって、今期が最後です。当会の外部監事として総仕上げの気持ちで臨みます。また、社会福祉士並びに社会福祉に関連することについてさらに理解を深めてまいりたいと思います。

- 強 厳正なる監査、ということにしておきます。  
■ ス 映画鑑賞。暴飲暴食（笑）。



### 竹本 了（有限会社 メディカルサービス廿日市）

2期目の監事を務めさせていただくことになりました。本会が引き続き、広島県民に信頼されるよう社会福祉の援助を必要とする人々の生活と権利を擁護、支援する事業が遂行していくよう、監事として精一杯努めてまいりたいと思います。

- 強 落ち着いて、粘り強く。  
■ ス 魚釣りと晩酌。

## 事務局長就任のご挨拶



### 亀野 幸一郎

引き続き事務局長を拝命しました。昨年度は、理事会の協議についていくことが精一杯でした。体力、気力、知力の衰えを感じる年齢ですが、今年も会員の皆様に役立つ事務局になるように、また、職員が働きやすい環境づくりに努めたいと思っています。

- 強 昔の職場や家族から、「よくわからないが、打たれ強いね」と言われていました。  
■ ス 家族と一緒にサッカー観戦です。

#### 【相談役の方々について】

相談役の方々につきましては、次号（8月発行）でご紹介します。



平成30年度共同募金  
社会課題解決プロジェクト  
募金へのご協力御礼



募金総額 446,786 円

この募金は、県内の学校や地域の集まり等へ出向き、障害児者の理解や必要な配慮について伝えることを目的とした『すべての障害児者と市民を結ぶひろしま県民会議』が実施する平成31年度事業に充てさせていただきます。

皆様方のご協力に深く感謝いたします。本当にありがとうございました！

## 司法と福祉をつなぐ 広島県地域生活定着支援センター

☎082-250-0503 祝日・年末年始除く月曜日から金曜日 8:30~17:30

広島県地域生活定着支援センターは、広島市南区の緑深い比治山の麓にあります。広島県社会福祉会館の4階です。広島県社会福祉士会が広島県より受託し、事業を開始。今年で10年目に入りました。当センターは高齢の方、障害のある方が矯正施設を退所後、地域で安心して暮らすことができるよう、保護観察所をはじめ、相談支援事業所、地域包括支援センター、医療機関…様々な機関と協働し支援しています。すべての人がその人の形で、いつでもどんなときもやり直せる社会を築けるように、皆様の温かいまなざしとご協力をよろしくお願いします。【相談員 院内 友美】

### ■主な業務内容

- ①コーディネート（帰住先の調整支援）
- ②フォローアップ（帰住後の生活定着支援）
- ③相談支援

### ■2018年度実績

- ①コーディネート 終了（24）継続（10）
- ②フォローアップ 終了（21）継続（21）
- ③相談支援 終了（2）継続（3）

広報窓口担当の  
院内友美です。  
よろしくお願ひし  
ます。



☆New Face紹介☆

## 若年性認知症サポートルーム

☎082-298-1034 祝日・年末年始除く月曜日から金曜日 9:00~17:00

若年性認知症サポートルームでは、昨年度から作成していた「若年性認知症ガイドブック」を本年度関係機関に配布し好評を得ております。若年性認知症は患者数も少なく、周囲からも理解が得られにくい病気です。理解を深めるとともに、相談者の状況やニーズに応じて支援に取り組むにあたり、このガイドブックをご活用いただけすると幸いです。（当ルームまでお問合せ下さい！）

最近では、近隣の地域包括支援センターの協力を得て、地域の方に向けて若年性認知症についてお話をさせていただく機会を持ち啓発の機会も増えてきています。本年度は事業所への普及啓発活動にも力を入れて参りたいと思いますので、皆さまよろしくお願ひいたします。

4月に入職しま  
した井川勝美  
です。  
宜しくお願ひ  
致します。



☆New Face紹介☆

## 司法委員会より会員の皆様へ委員募集のお知らせ

人材  
募集

司法委員会の活動の目的は、司法福祉の今日的課題の研究及び人材育成、社会福祉士会主催の司法福祉研修の運営、広島県地域生活定着支援センターなど他団体（弁護士会等）との連携です。司法福祉委員会を始動し2年が経過しました。今後も司法福祉委員会の活動を広く知っていただく為にも、活動と共にしていく委員の力が必要あります。司法福祉領域の業務を経験されている方、関心を持っておられる方、委員として一緒に活動していきませんか。

お問い合わせは、広島県社会福祉士会事務局（☎082-254-3019）へ、令和元年7月22日(月)までにお願い致します。なお、多数の応募がありましたら、協議による選考とさせていただきます。

【委員長 藤尾正彦】

# 連載

## 第5回 「望ましい社会福祉実践—五つの実践」

福祉哲学研究所所長（社会福祉学博士）

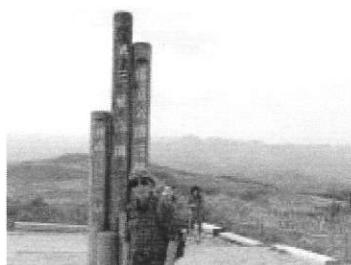
日本社会福祉士会初代副会長

秋山 智久

社会福祉における「望ましい実践」を五つ、考えてみたいと思う。

### （1）痛みを感じる実践

我々は「人」（クライエント）の痛みをどれだけ感じができるのであろうか。神谷美恵子は癩病（あえてハンセン病といわない）の島「長鳥愛生園」の精神科医として働いた体験を次のように言う。どうして私は医者で、患者さんはこの島から出られないのか。「そうだ、この人たちには私に代わってくださったのだ」。



### （2）誇らない実践

社会福祉従事者が自分でもよくやったという実践を行った時、自分を褒めることがあるであろう。人間は弱い存在だから、頑張ったなという気があると誰かに褒めてもらいたいと思う。「人」から感謝の気持ちをもらいたいと思う。しかし、ある施設職員が次の様に言っていた。「あなた達にとって本当に大切なのはこれから先の厳しい人生を見つめて戦って生きて行くことであり、後を振り返る余裕はないであろう。どうぞ私のことは忘れてほしい。」

### （3）騒々しくない実践

職員は「忙しい、忙しい」という。しかし手足バタバタ、心ソワソワすることだけが実践ではない。「人」が最も打ちひしがれている時、いろんな人がやってきて慰めごとを言う。しかし、慰めごとはうるさいこともある。或る「人」が言った、「あの一番苦しい時に一番自分を支えてくれたのは、何も言わいで私の側に座っていて、ただ泣いていてくれていた友達だった。」その人はたまたまソーシャルワーカーだった。これは騒々しくない実践である。ある意味で「何もしない実践」であり、その場に「立ちつくす実践」である。しかし、根本的に人を「支える実践」である。

### （4）さわやかな実践

人の心に残るさわやかな実践とは何であろうか。人生は短い、働いているときはもっと短い、相手に向かい合っている時はさらに短い、全身で相手に向かい合っている時はなお短い。或る職員は本当に向き合っていた、そして、さわやかに実践して、さわやかに去って行った。実践は長さではない、その質である。人を支える仕事は根本的にはさわやかで明るい仕事だろうと思う。

### （5）豊かな出会いの実践

マザー・テレサが言った。「我々はもうそくのようなんだ、もうそくは燃えて、だんだん細くなり最後に燃え尽きることによって回りを明るくし、暖かくする」。これはものすごい自己犠牲である。しかし我々はもうそくのようなくらい全部が消えて全部が無くなってしまうのではなくて、自分がエゴイスティックで、つまらない人間であったとしても、「相手」が私に何かを与えてくれる、相手が私を豊かにしてくれることがある。「人」はまた返してくれる。「自分の人生において大変幸せなことがあったとすれば、それはあなたのようないい人に出会えたことです。」【短い枠の中で語り切れない本文を補うものは次の箇所である。拙著『社会福祉の思想 入門』ミネルヴァ書房 第10章】

◆農作業の先輩方に元気パワーをもらい、今年も田植えをしました。（山根）◆災害は忘れた頃にやってくる。事前の備えや地域の助け合いの大切さに身を持って感じる今日この頃。（藤沼）◆去年は災害に猛暑にと大変な夏でした。今年は穏やかに楽しい夏になるといいなあ。（酒井）◆ユネスコ無形文化遺産の壬生の花田植を初めて見ました！飾り牛キレイでした。神楽も初めて鑑賞し、とても感動しました。（幸本）◆チョレイ！！（坂本）◆青い空、海、蝉の鳴き声…。「夏」で思い浮かぶ単語とその情景。いつまでも、そうであってほしい。今の子どもたちも…。（巴）

次回会員便りは8月発行予定です